



## 思春期の子供にどのように向き合うか。

— 第2回学校保健委員会(10.13開催) —  
講師：川畑まゆみ 先生  
(本校スクールカウンセラー)

### ◇ 学習の流れ

- ① 子供の実態を知る
  - ・保健委員約60人によるアンケート調査から
- ② グループ活動
  - ・不安やイライラしている時の声のかけ方
- ③ シェアリング (共有)
  - ・声かけの内容紹介, 内容についての感想
- ④ 今後の子供との向き合い方
  - ・言葉の力を意識した伝え方 (意見交換)



講話の後、参加者全員が今抱えている子育ての悩みや講話の感想を述べる。全てが共感できる内容で、大変和やかな雰囲気生まれた。

### ◇ 保護者の感想等

- ・仕事を始めようと思うが、子供が理解してくれるか？
- ・今が反抗期の状態。このままでいいのか？
- ・学校、部活、塾で疲れ切っているようで……。
- ・子供が望む食事といえば…、体育大会の弁当は「〇〇〇〇」にした。これでよかったのか？
- ・あまり会話は無いが、よく料理を手伝ってくれる。
- ・兄弟でタイプが違い、育てにくいと感じている。
- ・志望校と学力のギャップに苦しんでいるようです。どんな声をかけていいのか？
- ・二人の子供をバランスよくほめることが難しい。
- ・上の子供は受験のストレスでニキビが増えた。
- ・朝、自分で起きれない。はやく自立してほしいが。

### ◆ 保護者同士の交流の場・学び合いの大切さ

講話は約1時間。その後の意見交換も約1時間。合計2時間の時間があつという間に過ぎる。子供たちのアンケート調査を基に分析された具体的なデータの結果と我が子の状態を比較することで関心が高まり、保護者全体を包み込むような温かい雰囲気が生まれていった。

子育ての悩みを一人で抱えこまず、参加者全員が共有し、共感を得た時の安心感。……

コロナ禍において、保護者同士が気軽に話す機会が少なくなったのではないのでしょうか。

家庭教育の在り方をはじめ、保護者も子育てを楽しみながらイキイキと生活するために、共に語り合える時間や、語り合える場はとても重要であると感じました。

## 「創造」～ここから始まる未来への一歩～

### 学習文化発表会(10/28)を実施しました



本県では、毎年11/1～7の一週間を「地域が育むかごしまの教育」県民週間」とし、保護者や地域の方々が自由に学校を参観できる取組を行っています。

本校は、この期間の前に学習文化発表会を実施しました。コロナ禍により、参観者を限定させていただきましたが多くの保護者の参加がありました。誠にありがとうございました。



#### 〈温かい眼差し〉

舞台発表は、リモート・録画視聴で実施。保護者は入替制で各学年毎に鑑賞。参観者の合計は297人。  
※写真は1年生保護者



#### 〈匠の研 177-ト〉

アオハル？と、素朴な疑問に「青春」との答え。3年生一人一人の思いが込められた見事な作品が完成。



#### 〈学びを深める〉

修学旅行の事前・事後学習の内容を2年生が各班ごとに掲示。着眼点がユニークで、深い学びを実感。

## 新たな発想のもと、歴史と伝統をつなぐ

### 第30期生徒会役員組織決まる



9/30に実施された生徒会「立会演説会」の投票結果等を基に新生徒会役員組織が承認され、「任命式」を10/31に実施しました。

新しいリーダーとなる皆さんへの祝福と期待、これまで皆をリードしてくれた第29期生徒会役員の努力に感謝の気持ちを伝えたいところです。

リーダーには「積極的なリーダーシップ」と「援助的なリーダーシップ」が求められます。生徒会活動を活発にし、学校創立30周年に向けて、新たな伝統を築いて行きましょう。